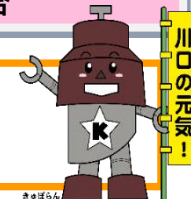


桜町地区

まちづくりニュース

発行：川口市都市整備部都市整備管理課
編集協力：(株)地域計画連合



まちづくり協議会を設立しました！

桜町3・4丁目周辺地区まちづくり協議会について

■協議会の目的

桜町3・4丁目及び周辺の防災性と住環境の維持・向上を目的として、まちづくりの推進を図ります。

■活動内容

- (1) 地区のまちづくりに関する情報提供・意見交換を行います。
- (2) 住民、地権者等への情報提供を行います。
- (3) その他、まちづくりに必要な事項

■会員 (50音順)

- 会長：日野 勝男 (桜町3丁目自治会長)
 副会長：神崎 有人 (桜町4丁目自治会長)
 幹事：青木 毅、金井 夫美子、田邊 恵造、恒川 照美、東田 あけみ
 会員：浅見 泰久、井出野 美登里、猪野 見治、大越 邦彦、大森 芳次、金澤 守、鴨井 良朗、小林 すみ、小柳 美佐子、斉藤 政子、杉田 和子、田中 時子、仲野 知樹、長本 和之、野島 輝夫、野村 恭司、早瀬 亘浩、東田 伸夫、兵頭 ミチ子、広瀬 勇、藤原 繁子、山口 久一



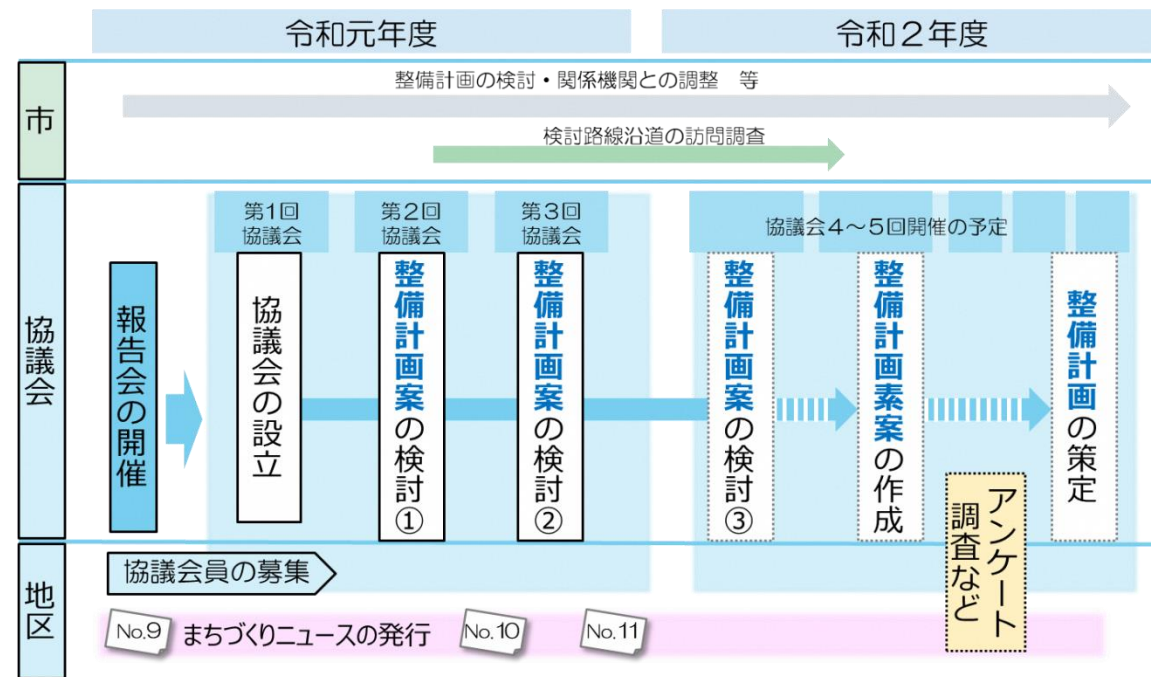
協議会設立にあたって

桜町3・4丁目周辺地区まちづくり協議会は、防災性と住環境の維持・向上を目的として立ち上がりました。今後は、より良い地区となるように、市と協働でまちづくりを進めてまいりたいと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

桜町3・4丁目周辺地区まちづくり協議会会長 日野勝男

今後の予定

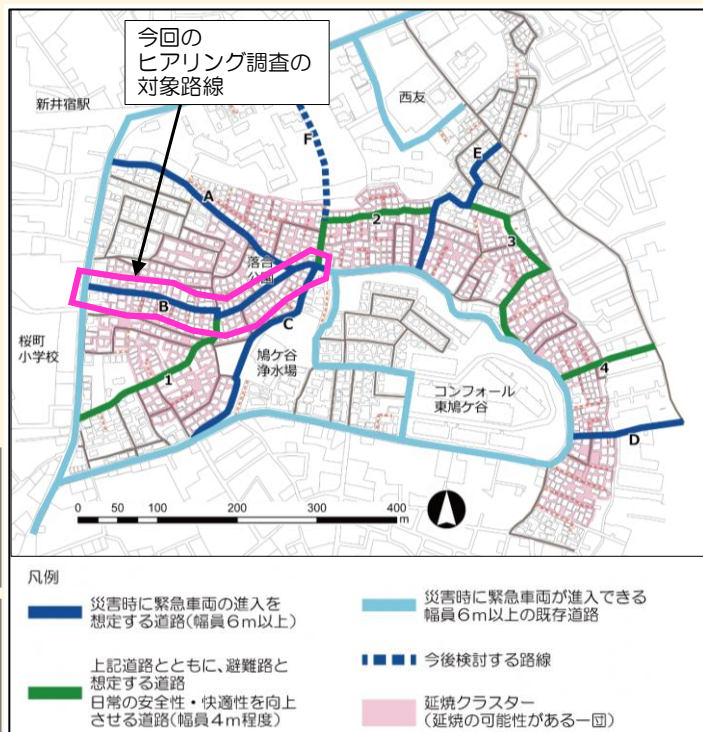
第2回協議会に引き続き、第3回協議会でも「整備計画(案)」の策定に向けて検討します。令和2年度も引き続き検討を行った後、整備計画の素案を作成し、アンケート調査等も踏まえて整備計画を策定する予定です。



ヒアリング調査を実施しています

道路ネットワーク (検討案)

地域にお住まいの皆さまから、まちづくり協議会等で検討した【道路ネットワーク(検討案)】に対するご意見を伺うために、ヒアリング調査を実施しています。ヒアリング調査の結果はまちづくり協議会で共有し、実現可能な道路ネットワークについて再度検討する際の参考とさせていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。



ヒアリング対象：道路ネットワーク(検討案)の沿道にお住まいの建物所有者の方

訪問期間：11月25日(月)～12月20日(金) 午前10時～午後7時頃

桜町地区のまちづくりの記録を市ホームページで紹介しています。

桜町まちづくり 検索

【問合せ先】

川口市 都市整備部 都市整備管理課(鳩ヶ谷庁舎2階)
TEL: 048-280-1220 (直通) FAX:048-285-2002

これまでの経緯と今後の進め方

桜町地区では、「安全・安心で住みよい環境づくり」を目標に、昨年9月に「桜町地区まちづくり勉強会」を立ち上げ、地区の重点課題である密集市街地の改善に向けた「整備の方向性」を取りまとめるため、主に将来の道路ネットワークの検討を行ってきました。

そして今年7月には、昨年9月に立ち上げた「まちづくり勉強会」を発展させ、「桜町3・4丁目周辺地区まちづくり協議会」を立ち上げ、具体的な整備計画の作成を進めていきます。



これまでの検討の様子

第2回協議会の検討結果

10月26日に開催した第2回協議会では、3グループに分れて、「公園・広場づくり」「安心して住み続けられる住宅地」という2つのテーマについて意見交換を行いました。各班で様々な意見が挙がりましたので、当日の検討内容の一部を紹介します。

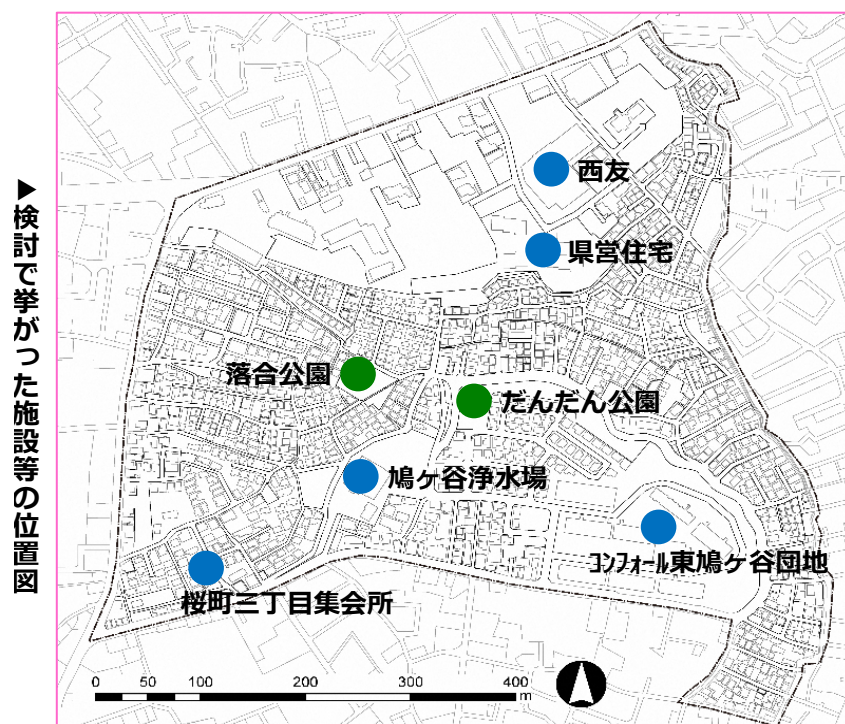
■ 検討の中で意見が挙がった施設等の名称

【公共施設】

- ・ 鳩ヶ谷浄水場
- ・ 桜町三丁目集会所
- ・ 県営川口赤山団地
- ・ 落合公園
- ・ だんだん公園

【民間施設】

- ・ 西友川口赤山店
- ・ コンフォール東鳩ヶ谷団地



▶ 検討で挙がった施設等の位置図

公園・広場づくり

- 落合公園は、周囲の宅地や危険な崖地を買収して土地を拡張し、集会場等を整備すれば避難所として機能するのでは。
- 鳩ヶ谷浄水場は、給水拠点として使用しない水害時に限定して、避難空間として活用できると良い。鳩ヶ谷浄水場は避難上最適な場所にあるため、一部でも災害時に利用できると良い。
- ツォール東鳩ヶ谷団地の広場は、地区住民から申し入れて災害時に利用させてもらうことができるのでは。
- 高台に避難できる空間を確保する必要がある。浄水場や市有地、県営住宅などを上手く活用できると良い。
- 空き家や空き地を買収して整備する小規模な空間は、防災倉庫等を設置して、被災後の生活をサポートする機能を持たせられると良い。
- 新たに公園を整備することと併せて、既存の空間が活用できるように日頃から協力できる体制・仕組みづくりが必要。
- だんだん公園はのり面の面積が大きく、地面の面積は小さいため、もう少し地面を増やせると避難場所として機能する。
- 落合公園には消火機材や、冠水対策として雨水貯留槽を整備できるとよい。
- 地区内各所での火災に対応できるように、小さな防災拠点となる広場を分散して配置できると良い。(200m四方に10か所くらい)

安心して住み続けられる住宅地

- 高台は水害時の影響は少ないが低地の取り残される住宅が課題。
- まずは災害弱者の避難場所を最優先に確保する必要がある。
- 西友やツォール東鳩ヶ谷団地の集会場、県営住宅の集会所など、既存施設との災害時の避難協定を結べると良い。
- 空き家や空き地を把握する方法として、所有者が相談する窓口を設置し、周知することで迅速な対応が可能になるのでは。
- 今後、空き家対策も含めて検討するならば、担当の部署と連携してほしい。
- 地区計画で敷地面積の最低限度を定めることも有効である。
- 当地区がまず目指すのは、避難路が確保された安全な住宅地である。
- 火災への対策も必要であり、建物の規制強化が必要。
- 桜町三丁目集会所が不燃化され、防災資器材が設置されれば周辺の住民や町会で消火活動ができるようになる。